



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

上場会社名 ニチコン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6996 U R L <https://www.nichicon.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 克彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・I R部長 (氏名) 横場 幹人 T E L 075-231-8461  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	124,254	△6.4	3,851	2.4	5,465	△12.8	4,019	△43.8
	132,745	△4.3	3,762	△52.7	6,271	△35.8	7,157	△10.6

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 7,950百万円 (17.0%) 2025年3月期第3四半期 6,795百万円 (△33.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	59.85	—
	104.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年3月期	197,391	119,132	58.4
	192,582	113,814	57.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 115,292百万円 2025年3月期 110,432百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2026年3月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期 3Q	70,000,000株	2025年3月期	70,000,000株
2026年3月期 3Q	2,841,179株	2025年3月期	2,840,755株
2026年3月期 3Q	67,159,065株	2025年3月期 3Q	68,414,871株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）におけるわが国経済は、エネルギーコストや金利の上昇など景気の下押しリスクが残るもの、雇用・所得環境の改善がみられたこと、加えて物価高対策を中心とする新政権による経済政策への期待感が高まり、緩やかな景気回復基調が続きました。米国経済は、関税政策の影響による輸出関連の弱さがあるものの、個人消費と雇用環境の底堅さにより、全体的な景気は堅調を維持しました。欧州経済は、インフレ圧力の鈍化から持ち直しの動きが見られましたが、地域差は残り鉱工業を中心に低調な推移となりました。中国経済は、内需の減速や長引く不動産市場の落ち込みにより、景気低迷が続きました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は124,254百万円と前年同期比6.4%の減収となりました。また利益につきましては、営業利益は3,851百万円と前年同期比2.4%の増益、経常利益は5,465百万円と前年同期比12.8%の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,019百万円と前年同期比43.8%の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

#### (コンデンサ事業)

コンデンサ事業における売上高は75,824百万円（前年同期比2.0%増）、セグメント営業利益は2,447百万円（前年同期比124.6%増）と増収増益となりました。

情報通信分野では、生成AIサーバーおよびデータセンター向け設備投資は一段と活発化しており、これを背景に当社事業においても導電性高分子アルミ固体電解コンデンサ、導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサならびに大形アルミ電解コンデンサの需要は拡大傾向となっています。当社は同分野を重点成長市場と位置づけ、開発から量産までのビジネスサイクルスピードアップ化を含む供給体制の強化を継続し、市場拡大に対応してまいります。同様に、重点市場分野である車載関連機器向けにつきましては、ADAS（先進運転支援システム）および電動化ユニット向けに搭載される導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサの需要が拡大基調を維持しています。当社は増産体制の整備を継続し、顧客要求に適切に対応してまいります。xEV向けフィルムコンデンサについては、上半年までの調整局面を概ね脱し、下半期より回復へ転じました。白物家電・産業用インバータ機器向けでは、パワーコンディショナーおよびエアコン用途の大形アルミ電解コンデンサにおいて顧客在庫の消化が進捗し、回復傾向が見られます。当社は、需要拡大が見込まれる導電性高分子アルミ固体電解コンデンサおよび導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサの製品ラインアップ拡充に加え、xEV向けフィルムコンデンサの生産能力増強および技術開発体制の強化を進め、車載・車両および情報通信の重点成長市場における受注拡大と事業の持続的成長の実現に取り組んでまいります。

#### (NECST事業)

NECST事業における売上高は48,430百万円（前年同期比17.1%減）、セグメント営業利益は1,405百万円（前年同期比47.3%減）と減収減益となりました。

家庭用蓄電システムは、新たなフランジシップモデルであるトライブリッド蓄電システム®「ESS-T5/T6シリーズ」の販売を開始しました。特に、太陽光パネルを多く搭載できる住宅では業界最大級の9.9kWのパワーコンディショナーがマッチしており、大容量蓄電池とEVへの拡張充電が特長です。急速充電器では、主に商用車向け設備用のサイクリックマルチ充電器の拡販を進めるとともに、インフラ用では新たな販路拡大を進めています。V2Hについては、日本完成車メーカーによるEV新モデルの発表が続いており、今後の市場拡大に伴う需要増加が期待されます。政府も令和7年度補正予算で充電インフラの拡充を後押ししています。スイッティング電源では、遊戯用が好調であったものの、主力のドキュメント市場が関税問題および中国市場の停滞で影響が見られました。大型特殊電源については、学術用・医療用等を中心に計画どおり堅調に推移しました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前期末（2025年3月末）に比べ4,809百万円増加し197,391百万円となりました。主な増減の内容は、有形固定資産が前期末に比べ1,304百万円減少し51,781百万円となった一方で、投資有価証券が前期末に比べ2,658百万円増加し29,346百万円、現金及び預金が前期末に比べ1,973百万円増加し27,493百万円となったことに加え、商品及び製品が前期末に比べ1,701百万円増加し16,467百万円となったことなどによるものです。

負債合計は、前期末に比べ509百万円減少し78,258百万円となりました。主な増減の内容は、短期借入金が前期末に比べ1,700百万円増加し8,400百万円、電子記録債務が前期末に比べ1,056百万円増加し14,623百万円となった一方で、長期借入金が前期末に比べ1,875百万円減少し13,875百万円、未払金を含む流動負債のその他が前期末に比べ1,041百万円減少し10,042百万円となったことなどによるものです。

純資産は、前期末に比べ5,318百万円増加し119,132百万円となりました。主な内容は、利益剰余金が親会社株主

に帰属する四半期純利益を4,019百万円計上、配当金の支払を2,417百万円行ったことで、前期末に比べ1,601百万円増加し62,428百万円、その他有価証券評価差額金が前期末に比べ2,189百万円増加し12,961百万円となったことに加え、為替換算調整勘定が前期末に比べ1,069百万円増加し12,257百万円となったことなどによるものです。また、自己資本比率は58.4%となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、前年同期に比べ5,848百万円収入が減少し、9,480百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が5,502百万円、減価償却費を5,962百万円計上した一方で、棚卸資産の増加額が1,163百万円となったことなどによるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、前年同期に比べ1,345百万円支出が減少し、5,272百万円の支出となりました。これは主に、有価証券・投資有価証券の売却・償還による収入が1,181百万円となりましたが、有形固定資産の取得による支出が5,162百万円、有価証券・投資有価証券の取得による支出が600百万円となったことなどによるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、前年同期に比べ6,846百万円支出が減少し、3,128百万円の支出となりました。これは主に、短期借入金の純増加額が1,700百万円となった一方で、配当金の支払額が2,417百万円、長期借入金の返済による支出が1,875百万円となったことなどによるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ1,923百万円増加し27,443百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年5月9日（2025年3月期決算発表時）に公表しました内容に変更はありません。

なお、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

#### (業績の予想に関する留意事項)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	25,519	27,493
受取手形、売掛金及び契約資産	38,963	38,882
電子記録債権	5,969	5,890
有価証券	100	796
商品及び製品	14,766	16,467
仕掛品	6,184	6,474
原材料及び貯蔵品	12,265	12,069
その他	4,572	3,745
貸倒引当金	△86	△92
流动資産合計	108,254	111,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,745	18,367
機械装置及び運搬具（純額）	18,771	18,256
その他（純額）	15,569	15,157
有形固定資産合計	53,086	51,781
無形固定資産	1,928	1,913
投資その他の資産		
投資有価証券	26,688	29,346
その他	4,116	4,283
貸倒引当金	△1,492	△1,660
投資その他の資産合計	29,312	31,969
固定資産合計	84,328	85,664
資産合計	192,582	197,391

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	14,894	15,088
電子記録債務	13,566	14,623
短期借入金	6,700	8,400
1年内返済予定の長期借入金	2,500	2,500
未払法人税等	1,298	625
賞与引当金	1,514	598
その他	11,084	10,042
流動負債合計	51,558	51,878
<b>固定負債</b>		
長期借入金	15,750	13,875
その他の引当金	3,786	4,278
退職給付に係る負債	1,462	1,248
その他	6,211	6,977
固定負債合計	27,209	26,380
<b>負債合計</b>	78,768	78,258
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	14,286	14,286
資本剰余金	16,856	16,856
利益剰余金	60,826	62,428
自己株式	△3,497	△3,498
株主資本合計	88,471	90,073
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	10,772	12,961
為替換算調整勘定	11,188	12,257
その他の包括利益累計額合計	21,960	25,219
<b>非支配株主持分</b>	3,381	3,840
<b>純資産合計</b>	113,814	119,132
<b>負債純資産合計</b>	192,582	197,391

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	132,745	124,254
売上原価	111,413	102,883
売上総利益	21,332	21,371
販売費及び一般管理費	17,569	17,520
営業利益	3,762	3,851
営業外収益		
受取利息	230	190
受取配当金	695	741
持分法による投資利益	479	152
為替差益	1,277	722
その他	252	298
営業外収益合計	2,935	2,105
営業外費用		
支払利息	103	193
その他	323	298
営業外費用合計	426	491
経常利益	6,271	5,465
特別利益		
固定資産売却益	3	3
投資有価証券売却益	2,645	744
特別利益合計	2,649	748
特別損失		
固定資産処分損	70	8
事業構造改革費用	—	703
特別損失合計	70	712
税金等調整前四半期純利益	8,849	5,502
法人税、住民税及び事業税	1,457	1,035
法人税等調整額	△66	43
法人税等合計	1,391	1,078
四半期純利益	7,458	4,423
非支配株主に帰属する四半期純利益	300	404
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,157	4,019

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	7,458	4,423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,712	2,161
為替換算調整勘定	2,103	1,394
持分法適用会社に対する持分相当額	△53	△28
その他の包括利益合計	△662	3,527
四半期包括利益	6,795	7,950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,232	7,278
非支配株主に係る四半期包括利益	562	672

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,849	5,502
減価償却費	6,165	5,962
事業構造改革費用	—	703
投資有価証券売却損益（△は益）	△2,645	△744
売上債権の増減額（△は増加）	2,327	955
棚卸資産の増減額（△は増加）	936	△1,163
仕入債務の増減額（△は減少）	710	627
その他	129	△829
小計	16,473	11,013
法人税等の支払額	△1,523	△1,732
事業構造改革費用の支払額	—	△540
和解金の支払額	△443	—
その他	822	739
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>15,328</b>	<b>9,480</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△50
有価証券の取得による支出	△303	△499
有価証券の売却及び償還による収入	303	100
有形固定資産の取得による支出	△9,071	△5,162
投資有価証券の取得による支出	△499	△101
投資有価証券の売却による収入	3,122	1,081
長期貸付けによる支出	—	△400
その他	△170	△241
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△6,618</b>	<b>△5,272</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△5,300	1,700
転換社債型新株予約権付社債の償還による支出	△12,000	—
長期借入れによる収入	12,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,875	△1,875
配当金の支払額	△2,326	△2,417
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△473	△535
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△9,975</b>	<b>△3,128</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	869	845
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△395	1,923
現金及び現金同等物の期首残高	29,387	25,519
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,991	27,443

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	コンデンサ事業	NECST事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	74,352	58,392	132,745	—	132,745
セグメント間の内部売上高又 は振替高	390	94	484	△484	—
計	74,742	58,487	133,229	△484	132,745
セグメント利益	1,089	2,668	3,757	4	3,762

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の取引消去等です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	コンデンサ事業	NECST事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	75,824	48,430	124,254	—	124,254
セグメント間の内部売上高又 は振替高	477	—	477	△477	—
計	76,302	48,430	124,732	△477	124,254
セグメント利益	2,447	1,405	3,853	△1	3,851

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の取引消去等です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

コンデンサ事業の製造に係る固定資産の一部について、減損の兆候が認められたことから、当該固定資産に係る回収可能性を検討した結果、回収可能価額まで減額し当該減少額413百万円を事業構造改革費用に計上しました。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。